

## 共同研究及び技術サービスにおける間接経費等の改定について

平素より本学との産学官連携活動につきまして、ご理解及びご協力を賜り誠にありがとうございます。

この度、本学では、産学連携における共同研究及び技術サービスに係る諸状況を勘案し、研究者の学術的知見に対する対価として「知的貢献費」を新たに計上させていただくことといたしました。これは、企業の皆様のご理解とご賛同を得た上で計上させていただくものです。

また、共同研究及び技術サービスにおける間接コストの取扱いにつきましても見直しを行うことといたしました。従来は、企業の皆様に共同研究及び技術サービスの遂行に直接必要な経費（謝金、旅費、人件費、設備取得費、消耗品費等）に加え、間接コストとして直接経費の10%及び15%をご負担いただいております。しかしながら、国からの支援が年々減少する中、現行の経費率では研究活動を継続的かつ安定的に遂行するための資金が不足する状況となっております。

さらに、平成28年度に策定された「産学官連携による共同研究強化のためのガイドライン」等、政府方針を踏まえ、本学の財務状況を基に必要経費を再評価した結果、30%を超える間接コストが不可欠であるとの結論に至りました。

これを受け、研究基盤の一層の強化を図り、地域社会および産業界の期待に応え得る体制を整備するため、間接コストの率を下記のとおり見直すことといたしました。今後も産学連携活動を一層推進し、社会への貢献を深めてまいります。

つきましては、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 改定内容

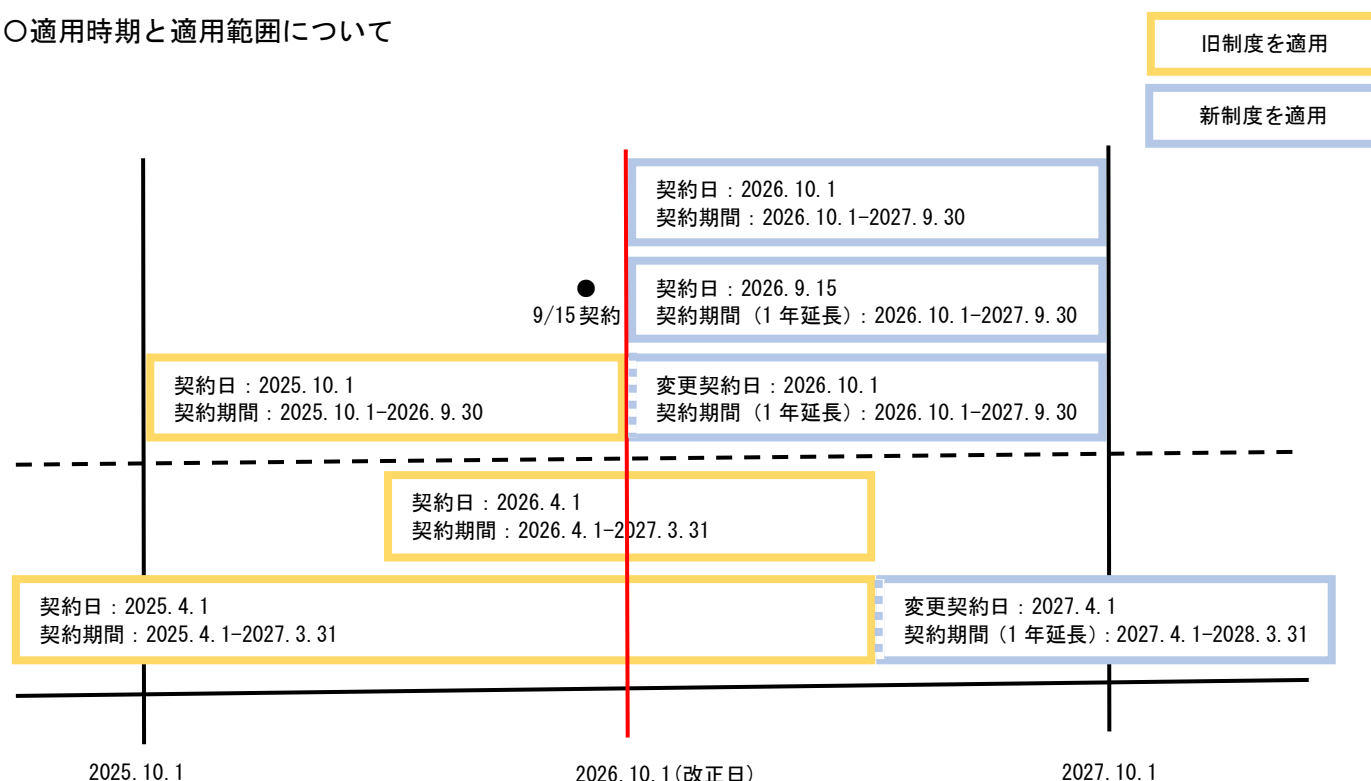
- ・企業の皆様のご賛同のもと、知的貢献費を導入します。  
知的貢献費の額は交渉により決定させていただきます。
- ・間接コストの額を直接コストの30%に相当する額とします。

#### 2. 改定適用時期

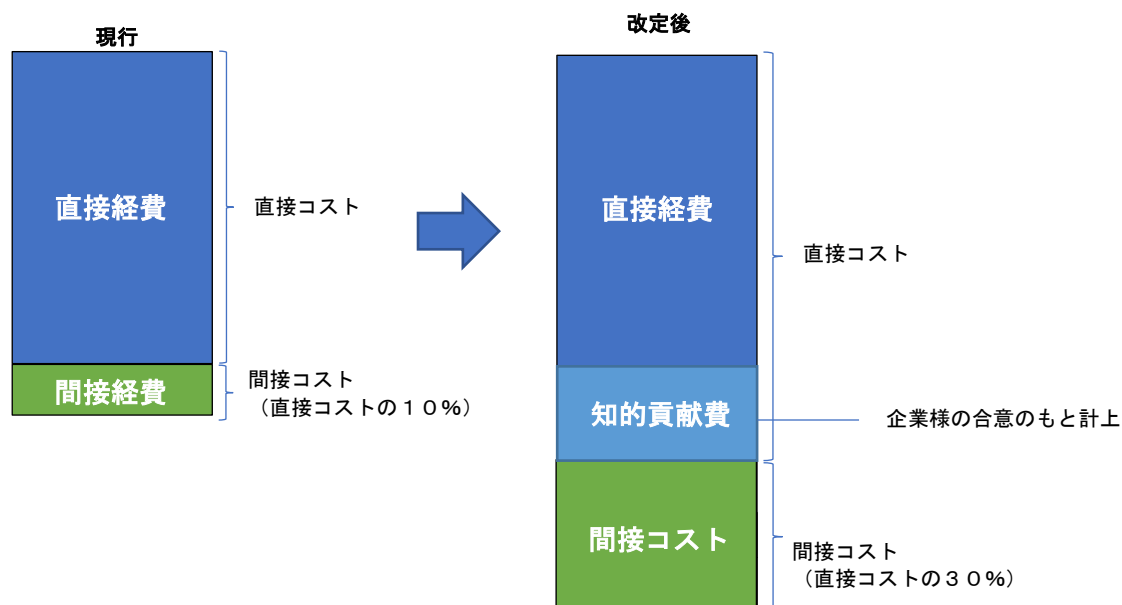
新規契約は、2026年(令和8年)10月1日以降に締結する契約

変更契約は、研究期間の延長と経費の増額を伴い、期間延長の研究開始日が2026年(令和8年)10月1日以降の契約

#### ○適用時期と適用範囲について



### 3. 共同研究経費の算定イメージ



#### 各経費の説明

##### ○直接コスト

###### ・直接経費

共同研究に直接必要な経費になります。

共同研究に必要な設備備品、消耗品、旅費、人件費、謝金等に充当します。

###### ・知的貢献費 ※企業様の合意のもと計上させていただきます。

共同研究を担当する本学教員の知見に対する対価となります。

本学教員が所属する研究拠点、研究センターの研究費に充当します。

##### ○間接コスト (※直接コストの30%)

大学の研究環境維持発展のため、光熱水料、共通機器の修理、保守、施設の修理、将来へ向けた産学連携の推進を図る経費等に充当します。

#### 【本件問い合わせ先】

国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学

研究推進部共創活動推進課研究振興係

(e-mail) josei@ml.jaist.ac.jp

(TEL) 0761-51-1893,1910